

事業名：生涯学習講座事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	05 豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実							
施策	02 生涯学習の充実							
基本事業	03 生涯学習機会の充実							
開始年度	—	終了年度	平成25年度	実施計画 事業認定	非対象	会計区分	一般会計	補助金

事務事業の目的と成果

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

手段（事務事業の内容、やり方）

現代的課題や生活課題をテーマに講座や人材育成のための研修会等を開催する。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

社会の急激な変化に対応し、人間性豊かな生活を営むために必要な現代的生活課題に関心を持ち、必要な知識や能力を獲得するとともに、地域活動に参画するための人材の発掘、養成の機会とする。

指標・事業費の推移

区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	市民	人	121,705	121,385	120,802	0
対象指標2						
活動指標1	講座等開催数	回	1	1	1	0
活動指標2						
成果指標1	講座等参加者数	人	49	31	57	0
成果指標2						
事業費(A)		千円	5	18	39	0
正職員人件費(B)		千円	1,204	1,202	1,172	0
総事業費(A+B)		千円	1,209	1,220	1,211	0

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	・「地域活動におけるリーダーの在り方」をテーマに講座を開催	・講座等開催講師謝礼 35千円

事業を取り巻く環境変化
事業開始背景
事業を取り巻く環境変化
少子高齢化や多様な地域生活課題が増加しており、地域コミュニティの醸成や教育力の向上に必要な人材発掘と活用が求められている。

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）

(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

妥当である	理由 根拠	<ul style="list-style-type: none"> 市民の学習意欲を高め、また学習要望にこたえる意味から、行政として人材育成に必要な講座や講習会の開催といった学習機会を提供していくことは妥当である。
妥当性が低い		

(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい	理由 根拠	<ul style="list-style-type: none"> 生活や現代的な課題の解決につながる企画や、公民館施設の有効活用等の効果は大きく、学習環境づくりに貢献している。
貢献度ふつう		
貢献度小さい		
基礎的事務事業		

(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？

上がっている	理由 根拠	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年度からは新たなスタイルで講座を開催。毎回、テーマが異なることから、参加者に波があるものの継続することにより、安定が見込まれる。
どちらかといえば上がっている		
上がらない		

(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大	理由 根拠	<ul style="list-style-type: none"> 庁内各部署や各団体との連携、ニーズ把握によって独自の視点で事業の見直しを図ることにより、成果を向上させる余地はある。
成果向上余地 中		
成果向上余地 小・なし		

(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありませんか？

ある	理由 根拠	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施に係る経費のほとんどが報償費であり、講師等の選定を工夫するなど、効率性を図るよう努めている。 平成26年度から江別市生涯学習推進協議会へ事業を移管することにより、コストを削減している。
なし		